

中2数学 出題のねらいと対策

1 式の計算 70.4%

ねらい：正負の数，文字式の計算の解法の定着度や，文字式による表現の理解をみる。

分析と対策：(1)①②正負の数の四則計算の計算順序や符号の間違いに気をつけましょう。(3)通分してから，分配法則を使います。(2)式を計算して簡単にしてから代入します。(3)等式の変形について確かめておきましょう。

2 方程式の解法 88.3%

ねらい：方程式や連立方程式の解法の定着度と，文章題での応用力をみる。

分析と対策：(2) y の係数をそろえて消去します。(4)弁当Aと弁当Bの個数をそれぞれ x , y とおいて，連立方程式をつくります。

3 連立方程式の利用 52.5%

ねらい：連立方程式の記述問題への対応力をみる。

分析と対策：連立方程式の文章題の解き方を記述するときは，変形した式に番号をふるなど，整理しながら解答を書くようにしましょう。

4 平面図形・空間図形 60.0%

ねらい：平面図形や空間図形についての理解度と応用力をみる。

分析と対策：(1)おうぎ形の弧の長さや面積の求め方は必ず身につけておきましょう。(2)垂直二等分線，垂線，角の二等分線の作図方法や性質は覚えておきましょう。(3)ねじれの位置とは，同一平面上にない位置関係になります。(4)立体の体積や表面積の求め方を確かめ，練習しておきましょう。

5 1次関数の基本 77.0%

ねらい：比例・反比例や1次関数の基本事項の定着度をみる。

分析と対策：(1)比例・反比例の式の形は必ず覚えておきましょう。(2)「変域」はグラフにかくと理解しやすいです。(4)直線の式の求め方はいくつかのパターンがあります。練習して身につけておきましょう。(5)交点の座標は2つの式を連立方程式として求められます。

6 1次関数の利用 47.5%

ねらい：座標平面の直線と図形を1次関数を用いて考えられるかをみる。

分析と対策：(1)Aは直線 l 上の点だから，直線 l の式に x 座標を代入して y 座標を求めます。(2)座標を利用して，必要な線分の長さを求めます。(3)Pの x 座標を t と置いて，座標を文字を使って表します。②では四角形PQORが正方形で $PQ=PR$ となることから， t の値が求められます。

全体の平均点は66.8点です。大問別テーマのうしろの数字は，全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら，不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。